

表現や発信を目的とした情報機器の活用 - スタディノートの活用を通して -

深谷小学校


1 単元名 住みよいまち深谷環境宣言 - 地球にやさしい環境づくりを探る - 第5学年

2 単元の目標

自分たちの住んでいる深谷の環境の実態について知り、環境の保全や改善のための工夫や努力について調べ、よりよい環境づくりに貢献しようとする態度を養う。

- (1) 公害問題や地球環境問題を学習する中で、自分の課題を見つけ、調べる活動の計画を立てることができる。
- (2) 自分の課題に合った調べ方を選択し、調べて分かったことを工夫して表現することができる。
- (3) 自分たちの生活と環境とのかかわりを再確認しながら、自分たちにできる環境の保全や改善について考え、実行したり、家庭や地域に発信したりすることができる。

3 単元の活動計画

学習過程	学習活動と主に活用した情報機器
1 学習課題を知る (総合3時間)	<p>社会科で学習した「これからの工業と環境」について関心をもつ。 アンケートにより深谷市の公害について見つめ直す。 17号国道、中仙道商店街、唐沢川、田谷田園地域等を歩き、深谷の空気、水、土等、地域の環境について興味や関心をもつ。 地域の環境についての興味や関心の中から、自分なりの課題をつかむ。</p>
2 学習課題をつかむ (総合2時間)	<p>地域の環境問題について各自の興味や関心をもちよって話し合い、課題に合った活動グループをつくる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・酸性雨 ・川の水質、生き物 ・ダイオキシン ・生活排水 ・空気の汚れ ・悪臭 ・騒音 ・振動 ・ごみの種類 等 </p> <p>各グループごとに、課題についてどんな方法でどんなことを調べたらよいか話し合い、調べ学習の計画を立てる。</p>
3 グループの課題にそって調べる (総合11時間)	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>『だいじょうぶ？深谷の環境』 - わたしたちの住む深谷のまちの環境を知ろう -</p> </div> <p>グループごとに課題にそった調べ学習を進める。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・現地調査 ・図書室や市立図書館で本で調べる ・コンピュータ室でインターネットで調べる ・公共機関で話を聞く ・FAXで質問する 等 </p> <p>調べたことをもとに話し合い、課題や活動内容を明確にする。 話し合いから出された新しい課題にそって、再度調べ学習を進める。</p> <div style="text-align: right;">  <p>デジタルカメラで取材</p> </div>
4 調べたことをまとめる (総合6時間)	<p>調べたことや取材してきたことを様々な表現方法で工夫し、まとめる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・模造紙やコンピュータでまとめる ・デジタルカメラの写真を貼り付ける ・紙芝居にする ・劇を演じる ・クイズにする ・実物を展示する 等 </p>
深谷小 ふれあい広場 (総合3時間)	<p>「深谷小ふれあい広場」で発表するための役割分担を決め、発表の練習をする。 「深谷小ふれあい広場」で発表するとともに、各グループの発表を聞き、情報を交換する。 各グループの発表を聞きながら、地域の環境の実態を知る。</p>
5 グループの課題にそって話し合う	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>『深谷発地球環境号』 - わたしたちにできることを実行し、家庭や地域に発信しよう -</p> </div>

<p>(総合4時間)</p>	<p>地球規模で起きている環境問題について知る。</p> <p>・地球温暖化 ・オゾン層破壊 ・酸性雨 ・海洋汚染 ・森林の減少 ・砂漠化 ・ダイオキシン ・ごみの増加 等</p> <p>地球規模での環境問題と地域の環境の実態との結び付きについて話し合う。 これまでの課題と地球環境問題をもとにグループづくりをする。 自分たちが身近にできそうなことを行うという課題をつかむ。 地域で環境保全に努めている人から話を聞く。</p>
<p>6 課題についてまとめる (総合5時間)</p>	<p>自分の家庭生活や地域を振り返り、自分たちにできることを話し合う。 「住みよいまち深谷環境宣言」で自分たちにできることをまとめ、発表する。 環境を守るために自分たちにできることを家庭や地域に発信する。</p> <p>・ポスター ・新聞 ・ホームページ ・学年、学級だより 等</p>
<p>7 これまでの活動を振り返る (総合1時間) (国語6時間)</p>	<p>これまでの活動を通して自分の考えを深めることになった体験を中心に感想を書く。</p> <p style="text-align: center;">スタディーノートの活用</p>



4 情報機器活用の意図(スタディーノート)

今回、総合的な学習の時間での取り組みの中で、課題に対するまとめや表現、そして、情報としての発表、発信の手段としてスタディーノートを活用した。それは次のような意図からである。

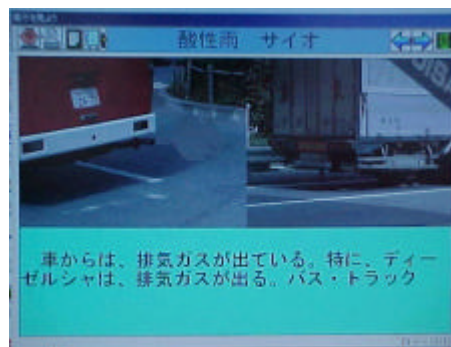
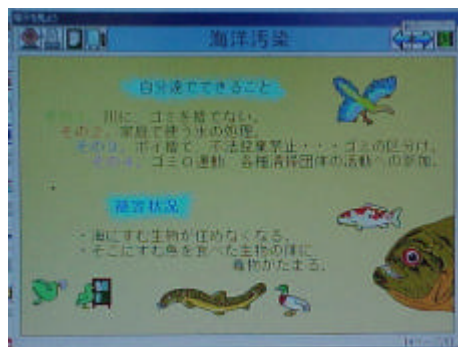
まとめ 紙芝居形式で、これまで調べてきたことを順序立ててまとめることができる。

表現 色彩、文字の装飾、絵や写真の挿入等、簡単な操作で自由に表現できる。

発表 まとめたものをプロジェクターを使ってプレゼンテーションできる。

発信 校内LANを利用して、コンピュータ教室、図書室、ふれあいルーム等で情報として校内に発信できる。

5 活動の様子・児童の作品



どのグループも環境破壊の原因、深谷の環境の実態、地球環境問題、そして、それらの環境を守るために自分や家族ができそうなこと等、順序立ててページを作り、まとめている。

図書室等のコンピュータを使って、まとめたものを全校児童に向けて発信した。

6 成果

課題について調べるための手段を選択する情報活用能力を育てると同時に、課題のまとめや発表、発信する手段としての情報機器の選択能力も育てる必要がある。数年前までは模造紙や画用紙でしかできなかったことが、今日ではコンピュータを使うと、簡単な操作で、楽しく、より分かりやすく表現できる。さらに発信できる範囲も確実に広がった。今回の取り組みを通して、児童はそれぞれの情報機器のもつ特徴を理解することができてきた。今後も学習活動の様々な場面で情報機器を利用していきながら、児童が自ら学習を進めていくための有効な手段として、情報機器が選択できるようにしていきたいと考える。

